

平成 27 年 3 月 6 日

大山町議会議長 野口俊明様

議席番号 14 番 大山町議会議員 岡田 聡



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 40 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 地方創生の戦略は</p> <p>まち・ひと・しごと創生法案による地方創生の目標は「潤いのある豊かな生活を営むことができる地域社会の形成」「地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保」「魅力ある多様な就業機会の創出」とされている。かつて行われたふるさと創生事業の二の舞いになってはならないと考える。地方版総合戦略を今年 1 年で策定されるわけですが、起死回生のチャンスととらえ特色ある将来性のあるものを作り出さなければならない。</p> <p>(1) どのような考え、あるいはどのようなビジョンで取り組むのか。計画は。</p> <p>(2) 人材確保をどう考えているか。</p> <p>(3) 地域の生活環境を維持し、また、地域経済の活動を適切に維持するには雇用の確保と所得の維持が不可欠である、どう考えどう対処するのか。</p>	町長
<p>2 国民健康保険特別会計を問う</p> <p>医療給付費の年度毎の増大により国民健康保険特別会計は危機的状況である。基金も枯渇し保険料は県下でも 2 番目の高さである。被保険者は高い保険料の納付に大変な負担を強いられている。</p> <p>(1) 医療費削減のための抜本的な取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 長野県が平均寿命を延ばし医療費も下げることができ成功したように、鳥取大学医学部との提携による取り組みなど検討するべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 国の「保険者支援金」を保険料引き下げの財源に充てられないか。</p> <p>(4) 保険料を県内市町村の平均に近づけるため、若干の一般会計からの繰り入れも政策として許されると思うがどうか。</p> <p>(5) 県一本化の見通しはどうか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。